

国際文化理容美容専門学校渋谷校

平成 26 年度

学校関係者評価報告書

学校法人 国際文化学園

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

平成 26 年度 学校関係者評価委員会

開催日時：平成 26 年 9 月 29 日(月) 14:00～15:00

会 場：国際文化理容美容専門学校渋谷校 7 号館 会議室

出席者：（評価委員）藤原 清巳、トニータナカ、ヒロ・マツダ

実施方法：各評価委員に自己評価報告書を通覧いただき、意見を聴取した

－評価項目毎の学校関係者評価・意見－

基準 1 教育理念・目標・育成人材像

- ・理念、目標、育成しようとしている人材像を明確に示している
- ・校是「つくす心」は、理美容業に就く人は勿論、社会人の心構えの根幹だと思う。社会に出てから、職場でもプライベートでも、本当に様々な場面で、この心の在り方の大切さを実感することと思う。今後も継承し続けてもらいたい

基準 2 学校運営

- ・学校行事等で、大会を運営している職員方の様子を見てみると、動きの良さ・チームワークの良さを目の当たりにして、いつも感心している。また、行事に係らず、授業等、学校に居る間の何気ない場面でも感じさせられる。そこには上層部のリーダーシップと的確な指示があることを感じとれる。人の入れ替わりは当然にあるだろうが、皆さんで今の雰囲気そのまま受け継いでいってほしい
- ・人事・給与等の制度に係らず、必要なら迅速に改善に取り組むというスタンスでいるべき
- ・現在のシステムに不足が無いのは結構だが、日頃から情報収集していればより良いシステムの情報を知り得るし、検討材料の蓄積に繋がる

基準 3 教育活動

- ・学生は総じて元気で明るく、雰囲気が良い。先生方がよくコミュニケーションをとり、親身に面倒を見ているからだと思う
- ・今の教育内容は理美容学校のカリキュラムとして非常に分厚い内容だと思うし、国家試験合格率の高さも頷ける。免許を取らせることは学校の大事な役割であるはずだから、これからもぜひ継続してもらいたい。国家資格に合格したという実績はその人に対する信頼度を高める。客の立場としてそう思うから、学生には全員絶対合格してほしい
- ・先生方の指導力のレベルは高いと思う。色々なコンテストで上位入賞が目立つのはその表れのひとつ。先生方の中で今以上に交流を深めて、若い先生は積極的にベテランの教えを請うよう努めては？ベテランは「コツ」を知っている。時間をつくってくれるように願えば応えてくれるはず。気持ち良く応えてもらえるように気を配るのも勉強
- ・外部の技術研修や講習会に参加させてもらえるのは恵まれたこと。しっかり自覚して、勉強したことを学校に還元することが義務
- ・直接的にも間接的にも卒業生の評判を耳にする機会は多く、関係者として誇らしいこと
- ・国際文化ならではの、人を育てる教育を、これからも貫き通してほしい

基準 4 学修成果

- ・就職率の高さは良く維持されており、今後も継続されるよう期待する。手厚いサポートがなされているようで感心する。学生は恵まれている
- ・資格試験は合格という結果が大切。良い結果が得られるように傾向分析と対策は必要

基準5 学生支援

- ・中退する理由は人其々、様々だろう。低減を図るための策といっても実際問題として難しいと思うし、今後はもっと難しくなってくると思う。ご苦勞を察するが、先生方が、根気強く対話を続ける、という姿勢でいてくれることは、学生にも保護者の方にとっても、有り難いはず
- ・先生方は、学生はもとより保護者にも卒業生にも、常に真摯に対応している印象が強い。卒業生が頻繁に訪ねてくるというのもそのことによるのだろう。確かに嬉しいことであろうと頷ける
- ・「手洗い・うがいを忘れずに」等、繰り返しの刷り込みが、健康管理に一番効果があると思う
- ・美容室（業界）の発展に欠かせないのは人材であり、その人材を育てて業界に送り出すのが学校。卒業後に夢を抱ける関係であってほしい

基準6 教育環境

- ・素晴らしく整えられた施設・設備環境だと思う。
- ・メンテナンス業者を入れないで、毎日学生と先生方で掃除しているのは意義のあることと感心する
- ・防災対策や安全対策はしすぎて困ることは無い。いつ何が起こるかわからない昨今、一層の充実に努めてほしい。マニュアルが整備不足なら早急に整備を。何かあった時に追及材料にされる

基準7 学生の募集と受け入れ

- ・学生募集ではどこの学校も苦勞していると聞く。その中で国際文化は非常に健闘していると思うし、そのような声をよく耳にする。ご苦勞を察し、敬意を表する
- ・とにかく集客にだけ注力して広報展開している学校もあるようだが、その良し悪しは別にして、広報活動で決して誇大広告をせず、真っ正直であろうとするのが国際文化らしいところ
- ・学費にも社会情勢等の影響は大きい。例えば消費税増税分の値上げは仕方の無いこと

基準8 財務

- ・現状に問題ないと思う。適正と認識している
- ・少子化の影響を懸念する

基準9 法令等の遵守

- ・法令順守は義務という考え方は至極正論。今後も徹底されたい
- ・個人情報保護の人的脅威に対する考え方には同意するが、学校が保有している個人情報量はそれなりのボリュームがあるはずで、セキュリティ対策や漏洩保健等を常に視野に入れておく必要があると思う

基準10 社会貢献

- ・学校が行っている公開講座は、着付や伝統文化を題材にしている、参加者にも地域にも非常に有意義だと思う。今後も続けてほしいし、SNS等を使ってもっと広く告知しても良いのでは？
- ・校舎周辺の清掃を毎日続けていること、感心する
- ・校是「つくす心」を真に理解し各自が実生活において実践することが即ち社会貢献に通ずる、という考えに共感、同感する